



心ゆたかに

三芳町立藤久保中学校 学校だより 第14号
学校教育目標「自ら考え進んで行動する生徒」
令和4年3月15日発行(卒業生号)文責 田川 一義

令和3年度 第38回卒業証書授与式



栄えある未来を祝して!

今年度の卒業証書授与式も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、卒業生と卒業生保護者2名以内、教職員のみで執り行うこととなりました。1週間前までは2年生も参列できるよう準備を進めておりましたが、「まん延防止等重点措置」が延長されたことで、2年生の参列を見合わせることにいたしました。

来賓の方々のご臨席や在校生の参列で、卒業式に華を添えたかったのですが、卒業生の門出を心よりお祝いし、以下に式辞を掲載いたします。

< 校長式辞 >

今年の冬は、例年よりも寒い日が多かったように思います。3月になり、少しずつ暖かな春のぬくもりや春の息吹が感じられるようになりました。今年の卒業式も一年前と同じく、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来賓の方々のご臨席、在校生の参列がかなわない卒業式となりました。そのような中ではありますが、本日ここに保護者の皆様のご臨席のもと、藤久保中学校第38回卒業証書授与式を挙行できますことを心より厚く御礼申し上げます。

さて、85名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。今、みなさん一人一人に手渡した卒業証書は、中学校の全課程を修了し、9年間の義務教育を終えた証です。これからは、自らの意志と判断で、それぞれ新しい道へ歩き始めていくことを意味しています。みなさんの母校、藤久保中学校で学んだことを誇りに、次のステージへと大きく羽ばたいて行ってください。

私は、卒業生のみなさんとの縁を感じています。3年前の入学式の日、少し大きめの真新しい制服に身を包み、緊張しながらも、担任の呼名に元気よく返事をし、一礼するみなさんの初々しい姿を今でも覚えています。そして一年の時を経て、成長したみなさんと再びこの藤久保中学校で共に過ごし、本日、このようにみなさんの卒業の日を一緒に迎えることができたことを大変うれしく思います。

今から2年前、みなさんがもう少しで1年生を終えようとしていた、2月28日。突然、学校は3月から臨時休業となり、1年生の終わりの一ヶ月を学校で過ごすことができませんでした。そこから新型コロナウイルス感染症との闘いが始まりました。学校が再開した後も様々な行事や大会が中止となり、実施できたとしても規模が縮小され、新しい生活様式での日常が始まり、我慢や辛抱の連続だったと思います。みなさんはそのような厳しい状況でも、気持ちを切らさず、できる限りのことを地道に積み重ねていってくれました。中でも印象的だったのが、3度も延期になった修学旅行です。みなさんと一緒に行くことができた修学旅行は、私にとって思い出深い1ページとなりました。そこには、みなさん一人一人の努力やご家族のご理解やご協力があって実現できたことを強く感じた修学旅行となりました。また体育祭では、みなさんが全力で競技に臨み、最後まであきらめないゴールシーンや精一杯仲間を応援する姿に、力強さとたくましさを感じました。そして合唱祭では、練習の段階から合唱祭にかける強い思いを歌に込め、立派に表現してくれました。合唱祭当日は最上級生らしいパワー溢れるすばらしい歌声をホールいっぱい響かせてくれました。その歌声は、聴くものの心を揺さぶり、後輩たちの良き手本となりました。

そのような卒業生の輝かしい門出にあたり、2つ話をします。

1つ目は、「今まで共に過ごした仲間をこれからも大切にしたい」ということです。皆さんは、卒業し、それぞれの道を歩みはじめます。しかし、人と人とのつながりは、とても貴重なものです。藤久保中学校で共に学び、共に高め合ってきた仲間、地域の仲間は、一生の宝物です。そして、その宝物は、これからの人生の中で、きっとお互いの心の支えとなってくれると思います。

2つ目は、「毎日の何気ない日常を大切にしたい」ということです。コロナの影響で生活は今までと大きく変わってしまいました。しかしコロナ禍で制限が多くなった今だからこそ、当たり前だと思っていた日常の大切さを改めて感じることはできたのではないかと思います。人は大きな経験だけで成長するのではなく、日々のちょっとした出来事で、笑ったり、悩んだり、時には憤ったり、人の優しさ、温かさを感じています。そんなごくありふれた日常にも、私たちの成長に欠かせない経験があり、心を耕してくれています。そうした何気ない日常への感謝の気持ちを忘れず、一日一日、この一瞬を精一杯に生きていくことが大切だと思います。みなさんの前には輝かしい未来に向かって大きな道が続いています。その未来に向かって、力強く一步を踏み出してください。藤久保中学校を巣立っていく、みなさんに、詩人で作詞家の宮澤章二さんの「出発の意味」という詩を贈ります。

「出発の意味」 だれかが 実力を試してくれるかも知れぬ
そして 点数をつけてくれるかも知れぬ
それでいい そこから未来へ出発するのだ
そこから 新しい風景が見え始めるのだ

自分の足で 一人の実力で山道を登る
一步一步 どんな天景がひらけるのか
苦しんで登ってみなければ わからない

<進もう>と決意するからこそ 道がある
自分の道は 自らの努力でしか歩けない
それを 身をもって確かめるための 出発

花たちは 開く行為によって光に出合える
鳥たちは 飛ぶ行為によって風と遊べる
人もまた 意欲的に出発する行為によって
それぞれが 本当の<希望>に出合える

<裏面に続く>

最後に、一度は学校復帰を果たし、「3年生の卒業を見届けたい」とおっしゃっていた中屋敷先生。中屋敷先生にも、このように立派に成長した卒業生の姿を見ていただきたかった。しかし今日の卒業式も、そしてこれからは卒業生のみなさんのことを応援し、どこかで見守ってくれていると思います。

結びに、保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。中学生は、思春期ということもあり、何かと敏感で、多感な時期です。そのような中、このように卒業生が立派に成長を遂げられたのも、保護者の皆様が、お子様の気持ちに寄り添い、温かく見守ってくださっていたおかげです。改めて、お子様のこれからの大いなる飛躍を心よりお祈り申し上げます。これからの時代は、先行き不透明で、変化の激しい時代になると思います。しかし、どんな困難に直面しても、藤久保中学校で学んだこと、過ごしたことを胸に、これから力強く生き抜いてくれるものと信じております。あわせて、この3年間、PTA活動をはじめ、地域の活動を通して、本校の教育活動にお寄せいただきましたご理解とご支援に心より感謝を申し上げ、卒業生85名の限らない前途を祝して、式辞といたします。

《表彰》 (敬称略) 「おめでとうございます！」

- ☆埼玉県教育委員会優秀生徒表彰 3-2 安齋 陸斗
- ☆埼玉県産業教育振興会表彰 3-1 田部井 利奈
- ☆体育優良児童生徒表彰 3-2 藤田 登
- 3-1 犬伏 珠優



- ☆埼玉県読書感想文コンクール 入賞 3-1 田村 里愛 「兵隊一人一人を想う - 『永遠^{ゼロ}の0』を読んで
- 入賞 2-2 井上 紗希 「アーニャはきつと、来る」を読んで

☆3学年学校表彰

- ・学 び 賞 3-1 森 蒼葉 3-2 坂口 颯汰 3-3 増田 未来
- ・思いやり賞 3-1 町田 秀斗 3-2 町田 頼 3-3 東 華乃子
- ・健康賞 3-1 荒川 悠貴 3-2 宮内 伶 3-3 細野 哉夢

- ☆令和3年度歯・口の健康図画・ポスターコンクール 入賞 1-2 齋藤 凜

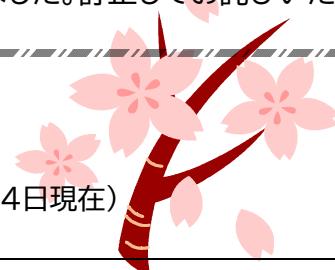
- ☆令和3年度三芳町エンジェルカップ男子バスケットボール大会 第3位

- ☆令和3年度三芳町エンジェルカップ男子バスケットボール大会 優秀選手賞 2-1 松戸 悠真

※学校だより第13号に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

令和3年度卒業生進路先

(3月14日現在)



— 国公立高等学校等(順不同) —

- | | | | | |
|--------------|---------|---------------|------------|--------|
| 朝霞高等学校 | 朝霞西高等学校 | さいたま市立大宮北高等学校 | 川越市立川越高等学校 | |
| 川越女子高等学校 | 川越南高等学校 | 川越西高等学校 | 川越総合高等学校 | |
| 川越工業高等学校 | 坂戸高等学校 | 坂戸西高等学校 | 狭山工業高等学校 | 志木高等学校 |
| 筑波大学附属坂戸高等学校 | 所沢北高等学校 | 南陵高等学校 | 新座柳瀬高等学校 | |
| 和光国際高等学校 | 富士見高等学校 | ふじみ野高等学校 | 松山高等学校 | 与野高等学校 |

— 私立高等学校等・就職(順不同) —

- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|----------|
| 秋草学園高等学校 | 川越東高等学校 | 埼玉みらい高等学院 | 埼玉栄高等学校 |
| 埼玉平成高等学校 | 狭山ヶ丘高等学校 | サレジオ工業高等専門学校 | 秀明英光高等学校 |
| 淑徳与野高等学校 | 自由の森学園高等学校 | 城西大学附属川越高等学校 | 西武台高等学校 |
| 西武学園文理高等学校 | 清和学園高等学校 | 日本航空高等学校 | 細田学園高等学校 |
| 星野高等学校(共学部) | 星野高等学校(女子部) | 山村学園高等学校 | 山村国際高等学校 |
| 早稲田大学本庄高等学院 | 就職 | | |

